

意見交換会実施報告書

令和6年8月27日

登米市議会議長 関 孝 様

第5班 報告者 浅田 琢哉

1. 意見交換会の概要

開催日時	令和6年7月15日 午後2時00分 ～ 午後3時30分	
開催場所	豊里公民館 研修室	
出席議員	司会者：佐々木 幸一 報告者：浅田 琢哉 記録者（受付、写真）：首藤 忠則、工藤 淳子、武田 節夫	
参加市民数	9人	
実施内容	議会報告	・ 司会によるテーマの報告と、昨年実施した意見交換での市民からのテーマ毎の意見について、常任委員会での対応を記した資料の説明を行った。
	意見交換	「人口減少について考える」 ・ 対面方式にて行い参加者の意見を伺った。 ・ 意見を出しやすいようテーマについて「今私たちにできること」「これからの地域づくりは」「出された意見や課題について、対応などに必要なことは」の大きく3項目に分け、意見交換を行った。 ・ 参加者全員から意見を伺うことができた。

2. 市民の意見等

会場 で いた だ い た 意 見	質 問	
	要 望	1. 各町には伝統文化・文化遺産という宝があるが、アピールで活性化する雰囲気づくりと活かす方法を考えてほしい。 2. 人口減少を食い止めるための登米市ならではの企画を考え、行政で実現してほしい。 3. 企画立案の部署が必要ではないか。イベントをやるような課が必要であり、作ってほしい。 4. 登米市に住みたくなるようなシティプロモーションをしてもらいたい。 5. 企業をもっと誘致するような発信力をお願いしたい。 6. 雨などの自然現象に関係なく、親子で楽しめる施設を作ってもらいたい。
	提 言	1. 市内各町の文化祭りを一堂に会して行えば、インパクトがあるのではないかと考える。 2. 市外へ出ていく人を減らすための働きかけとして、意見交換会の中学生版・高校生版を開き、意見を聞くべきである。 3. 子どもたちへのアプローチとして、農業体験を企画して、住んでいるうちに魅力を経験してもらうのが良いと考える。 4. 休日に登米市の体験ができる企画もの(農業や長沼ボートなど)の取組をすべきである。 5. 他市のように、マッチングアプリの利用料を市で助成するべきである。
	その他 テーマ外	1. 長沼で行われている東北風土マラソンに合わせた企画として、登米市のイベントウィークにして、来た人を翌日以降も留めてはどうか。 2. ふるさと納税のアピールが足りない。企画力が欠如している。 3. 観光と食でお金を落としてもらう工夫が必要である。 4. 古い公共施設を整理して、将来の負担を少なくするべきである。 5. 郷土芸能の宣伝の仕方が分からない、ただ案内を配布しているだけである。